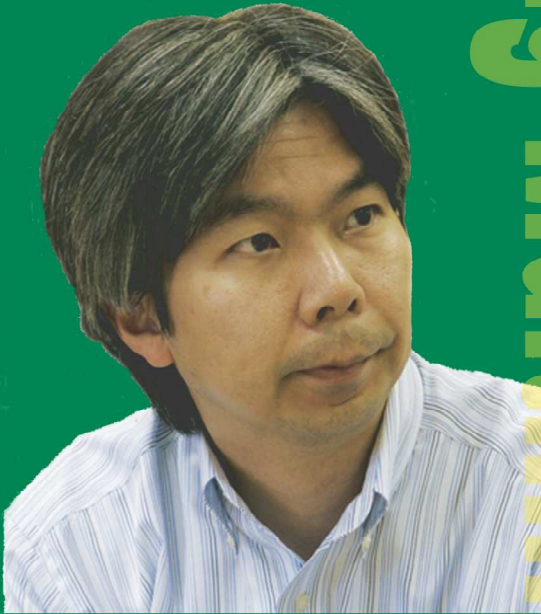


# Raising Multilingual Children



東京大学大学院 総合文化研究科 准教授

酒井邦嘉 (言語脳科学)

## 『人間はどのように ことばを獲得するのか?』

脳科学の 多言語の  
酒井邦嘉 × Hippo Family Club

### ■日時

2012年 4月 22日(日)

14:00～16:00 (開場13:30)

### ■会場 (定員：800名)

大阪市中央公会堂 (中之島公会堂)

地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 下車 1番出口から徒歩約5分  
京阪本線「淀屋橋」駅 下車 徒歩約5分  
京阪中之島線「なにわ橋」駅 下車 徒歩約1分

### ■参加費

お一人：1000円  
託児あり(事前申込制/お子様お一人につき 500円)  
参加費・託児費は当日受付でお支払ください。

### ■お申し込み

下記フリーダイヤルまたはホームページよりお申し込みください。



# 『人間はどのようにことばを獲得するのか？』

最新の脳科学と、母語として多言語を自然獲得している人たちの体験談を通して、その問いに挑む。

## 脳科学の 酒井邦嘉

1987年、東京大学理学部物理学卒業。同大学大学院理学系研究科博士課程修了（理学博士）後、同大学医学部助手、ハーバード大学医学部リサーチフェロー、マサチューセッツ工科大学言語・哲学科客員研究員を経て、現在東京大学大学院総合文化研究科准教授。

言語は人間のみに備わった能力である。言語は本人の努力による「学習」の結果生ずるのではなく、言語の元になる能力、すなわち言語知識の原型がすでに脳に存在していて、その変化によって言語の獲得が生じる。

チョムスキーによる「生成文法理論」は言語観の画期的な転換をもたらした。言語が「獲得か学習か」という議論は今なお続いているものの、近年の脳科学は実験の積み重ねとMRI技術の向上によって、言語生得説の主張を裏付けようとしている。（酒井邦嘉著『言語の脳科学』『脳を創る読書』より）

主な著書『言語の脳科学』『科学者という仕事』『遺伝子・脳・言語』（以上、中公新書）、『脳の言語地図』『脳でわかるサイエンス① ことばの冒険』（以上、明治書院）、『脳を創る読書』（実業之日本社）などがある。

## 多言語の Hippo Family Club

人間は誰でもそのことばが話されている環境さえあれば、そのことばを習得できる。

日本でなら日本語を、韓国でなら韓国語を、また三つ四つのことばが飛び交う、例えばヨーロッパのルクセンブルグのようなところでは、そこで話されているルクセンブルグ語、ドイツ語、フランス語と英語の四つのことばを同時に誰でも自然に話せるようになる。それも日常的に四つの多言語が飛び交う環境があるという、それだけの理由である。

自然の環境の中には、ことばの先生はいない。そのことばで話しかけてくれる温かい仲間がいるだけだ。ことばは周りの人との関係の中で自分で見つけていくものなのだ。

ルクセンブルグが特殊な環境なわけではない。多言語の自然環境があれば、誰でも多言語を話す人間になる。30年前に日本に生まれた多言語環境がヒッポファミリークラブだ。21カ国語の環境が生まれ、今、幼児から大人までの様々な世代がいきいきと話しはじめている。

## ■お申し込み方法

- ◇下記のお申し込み用紙にご記入の上、FAXにて言語交流研究所・関西（FAX番号 06-4790-7290）までお送りください。※後ほど、お申し込み内容の確認の為、ご連絡させていただく場合がございます。
- ◇お電話（フリーダイヤル 0120-557-761）、ホームページ（<http://www.lexhippo.gr.jp/>）からもお申し込みいただけます。
- ◇お申し込みいただいた方には参加受付ハガキをお送りいたしますので、当日ご持参ください。

### 4/22(日) 講演会 人間はどのようにことばを獲得するのか？

ふりがな お名前	お電話番号
ご住所 〒	E-mail
参加のきっかけ 1. ( )さんの紹介 2. ポスター 3. 学校からの案内 4. その他( )	
参加人数 人 (ご本人様を含む)	託児希望 [ ] [ ] [ ]

※ご提供いただいた個人情報は、当団体が定める「個人情報に関する基本方針」に従って、厳重に管理いたします。また、当団体は、業務の承継先以外の第三者に個人情報を提供することはありません。